

## 国際化学肥料ニュース (2015年11月)

### 肥料業界の2015年11月動態

- \* カナダ PotashCorp 社は、加里肥料の需要不振と価格下落を受け、今年第4四半期に塩化加里生産量を50万トン削減すると発表した。11月末に New Brunswick 州にある加里精製工場を閉鎖して、12月中旬に Saskatchewan 州 Allan、Cory と Lanigan にある加里精製工場も閉鎖する予定である。この4ヶ所の精製工場の生産能力が200~220万トンに達し、第4四半期だけで計50万トンを削減し、年間販売量も900~920万トンに抑える計画である。

PotashCorp 社の今年7~9月の加里肥料販売量が220万トン、純利益が2.28億ドル、昨年同期より3500万ドルも減少した。また、1~9月の加里肥料販売量が700万トン、純利益が6000万ドル減の10.7億ドル。その理由は塩化加里の価格下落である。昨年9月末の塩化加里価格が281ドル/トンに対して、今年9月末現在の価格が250ドル/トンに下落した。PotashCorp 社の CEO Jochen Tilk 氏は、世界加里の需要量が減少して、市場価格が下落しているため、加里肥料の供給量を減らして、価格を維持することが会社の存続にとって非常に重要なことであると述べた。

- \* ベラルーシ BPC 社は、加里肥料の需要減少に対応して、10月に塩化加里生産ラインの1本を1ヶ月停止し、定期検修を行う。また、11月にはほかの2本生産ラインも2週間の定期検修を行う。それにより計塩化加里45万トンの減産が見込まれている。

一方、ロシアの Uralkali 社は昨年発生した加里鉱山の透水事故により、今年1~9月の加里肥料生産量が50万トン減の870万トンに留まった。また、10~12月の加里肥料販売量も30万トン減らす予定である。これにより、2015年の加里肥料販売量は年初計画の1210万トンから1020万トンに、生産量は1040~1080万トンに下方修正した。

- \* 先日に公表した FMB のレポートによれば、世界のりん安生産能力が急速に増大する。2020年に中国のりん安生産能力が2015年の1640万トン（純P2O5換算、以下同）から1770万トンに、モロッコは360万トンから690万トンに、サウジアラビアが350万トンから475万トンに増大する。これにより、りん安の供給過剰状況が更に悪化する。特に世界最大のりん安輸入国インドの年間輸入量（320~500万トン）が価格の安い品質のよいサウジアラビア産に寡占される可能性が高い。
- \* 中国と世界大手加里肥料メーカーとの間に2016年の加里肥料輸入に関する基本交渉が11月下旬から開始する。加里肥料供給過剰の現状では、2016年の塩化加里価格が

CFR300 ドル/トンあたりに妥協するだろうと関係者が見ている。なお、2015 年の塩化加里価格が CFR315 ドル/トンである。

- \* ブラジルの塩化加里輸入量が大幅に減少した。GTIS の統計データによれば、1～10 月の輸入量が 14%減の 640 万トンであった。最近の塩化加里国際価格の下落で、輸入量がやや持ち直し、10 月の輸入量が 12%増の 84.8 万トン。現在、ブラジルの塩化加里 CFR 価格が 280～290 ドル/トンに下落して、その数年間の最安値になった。
- \* 中国国家改革発展委員会が公表した統計データによれば、中国 10 月の化学肥料生産量が前年同期より 2.9%増、窒素肥料、りん酸肥料、加里肥料の増加率がそれぞれ 2.5%、3.8%、12.5%であった。1～10 月の化学肥料生産量が 6286 万トン（純成分換算）に達し、前年同期より 6.8%増、窒素肥料、りん酸肥料、加里肥料の増加率がそれぞれ 5.4%、12.6%、5.9%であった。
- \* 塩化加里の価格が続落した。11 月中旬現在、ブラジル Paranagua 港の CFR 価格が 270～280 ドル/トンに下がった。また、アメリカ New Orleans 港の CFR 価格も 255～265 ドル/トンに下がった。チリの SQM 社の CEO Solminihac 氏は 2016 年の世界加里肥料需要量が 2015 年より 10%以上減少し、価格が 13%下がるだろうと予測する。また、カナダの Potash Corp 社も 2015 年の世界加里肥料需要量が 2014 年より 5%減の 5800～6000 万トンに留まるだろうと推測する。

中国も塩化加里価格が低迷で、9 月から増徴税の徴収再開により卸価格が一時に 200～300 元/トン値上げされたが、需要低迷で、11 月中旬に元の価格に戻された。現在、標準塩化加里の倉庫渡し価格（税込）が輸入品では 2,200～2,250 元（344～350 ドル）/トンで、国産品では 2,200 元（344 ドル）/トン以下になった。中国と加里輸出国の主要メーカーとの 2016 年加里肥料輸入契約に関する協議がすでに始まって、中国側は CFR 価格を 300 ドル/トン以下に下げよう要請する。
- \* インドの IPL 社が行った尿素の入札が 11 月 28 日に開札された。国際市場の尿素不振の影響で、16 社が入札して、応札数量 132 万トン。東海岸の最低 CFR 価格は Dreyamoor 社の 254.44 ドル/トンである。CFR258 ドル/トン未満の応札数量 52.1～62.1 万トン、その中に中国産尿素約 26 万トン、イラン産尿素 10 万トンを占める。今回は今年インド第 9 回目の尿素入札である。
- \* インドと大手加里肥料メーカーとの間に行っている 2016 年塩化加里の輸入契約に関する交渉に於いて、メーカー側は 2015 年の契約価格 CFR332 ドル/トンから 15 ドル/トンを引き下げ、CFR317 ドル/トンにすることを提案したようである。但し、イン

ド側は、塩化加里のスポット価格がすでに FOB250～260 ドル/トンに下がった現状では、2016 年の塩化加里 CFR 価格が 300 ドル/トンにすべきだと反論した。

一方、中国側は大手加里肥料メーカーとの間に行っている 2016 年塩化加里輸入契約に関する交渉に於いて、CFR280 ドル/トンを提案したようである。

### 大手各社の営業業績

- \* インドの Tata 化学は、尿素と化成肥料の旺盛な需要の影響で、7～9 月の売上高は前年度同期より 4%増の 7.55 億ドルに達した。また、1～9 月にインド政府から計 1510 万ドルの肥料補助金をもらった。
- \* 10 月 21 日、ノルウェーの Yara 社は第 3 四半期の業績を公表した。化学肥料販売量が 1%増、営業利益が 15%増の 5.65 億ドル、純利益が 135%増の 4.9 億ドルであった。
- \* オーストラリアのりん酸肥料メーカー Incitec Pivot 社が 7～9 月の業績を発表した。1～9 月の売上高が 9%増の 26 億ドル、純利益が 12%増の 2.803 億ドル。Phosphate Hill にあるりん鉱山の採掘量が 104.3 万トンに達し、それに伴うりん安生産量の増加と国販売価格の上昇が主な要因である。2016 年、Incitec Pivot 社のりん酸系肥料生産量が 95 万トンにする計画である。
- \* カナダの Potash Corp 社が第 3 四半期の業績を公表した。加里肥料販売量 220 万トン、りん酸肥料販売量 80 万トン、純利益 2.28 億ドルである。今年 1～9 月の加里肥料販売量 700 万トン、りん酸肥料 210 万トン、純利益が 9.5%減の 10.7 億ドル。
- \* チリの SQM 社は第 3 四半期の業績を公表した。売上高が 23.3%減の 3.338 億ドル、純利益が 79%減の 1370 万ドルである。業績悪化の原因は塩化加里と硫酸加里の販売量減少と販売価格の下落である。
- \* ロシアの Acron 社は第 3 四半期の業績を公表した。化学肥料生産量が 2.7%減の 471 万トン、販売量が 2.7%減の 468 万トン、売上高が 53%増の 12 億ドル、純利益が 48%増の 2.13 億ドルである。売上高と純利益が好調の原因は化学肥料の価格上昇である。

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* イスラエルの ICL 社はエチオピア政府の許可を得て、Afar 州の古塩湖にある加里鉱山の開発を始めた。ICL 社は 3 つの生産ラインを建設し、総投資額 10 億ドルを超え、3 年後に完成する予定である。当該加里鉱山は今年 6 月に 1.11 億ドルでカナダの会社から購入したもので、加里鉱石の埋蔵量が約 32 億トンである。

- \* イスラエル ICL 社はイスラエル南部のネゲヴ砂漠 (Negev Desert) にあるりん鉱石採掘計画がイスラエル政府の許可を得たと発表した。当該りん鉱石採掘計画は人間健康に害を与える可能性があるとして地元住民から裁判所に差し止めの裁判を起こしたが、裁判所はりん鉱石の採掘と人間の健康被害との間に関連性がないと判決した。

## その他

- \* 11月4日、メキシコ政府は中国とアメリカ産硫酸に対するダンピング裁定の最終結論を発表した。中国産硫酸のダンピングを正式に認定し、即日中国産硫酸に対して 0.0929~0.1703 ドル/kg のダンピング関税を徴収する。

- \* ウズベキスタン国有資産管理委員会は、国有窒素肥料メーカー Farg' onaazot 工場の 48%の株式を民間に売却する用意があると発表した。売却価格は 1.528 億ドルと予定されている。

Farg' onaazot 工場は 1961 年に建設され、ウズベキスタンの 3 大窒素肥料工場の一つである。生産能力はアンモニア 40 万トン/年、尿素 33 万トン/年、硝安 45 万トン/年である。2014 年のアンモニアと尿素的の操業率が 85%であった。2008 年 11 月、ウズベキスタン政府は当該工場の 51%株式を外国投資者に売却する計画であったが、入札最低価格 5200 万ドルに加え別途で 5500 万ドルを投資しなければならないという厳しい条件付で、応札者が現れなかった。

2007 年、ウズベキスタン政府は国営の Chirchiq 硝安工場をスペインの火薬メーカー Maxam 社に売却した経歴がある。

- \* ドイツの K+S 社は、Hesse と Thuringia にある加里肥料工場が地元政府の排水に関する新たな規制により生産に影響を及ぼすと発表した。地元住民と政府の提訴で、K+S 社が 2014 年に排水処理設備の完備に 4 億ユーロを投入すると約束して、今年 4 月に Kassel 地方裁判所が排水に関する仲裁を行い、12 月に和解案を発表する予定である。和解の前に K+S 社の工場から発生する排水は Werra 川の水量によりその排出量を制限する。

- \* 南アフリカのリン酸メーカー Foskor 社は、過去 3 週間にわたるストライキで、生産ラインの稼働率が 10%まで下がった。

400 名の従業員が昇給について経営側と交渉を行ったが、こう着状態が続いている。労働者側はすでに仲裁裁判所に提訴した。2015 年、Foskor 社は技術と電力供給の問題で、リン酸生産ラインの稼働率がずっと低迷している。1~9 月のリン酸輸出量が 11.1 万トン、前年度より 15.4 万トンも減少した。